

公共調達にかかる知財周りの課題

2024年3月17日

尾崎典明

尾崎 典明



- ①研究開発型スタートアップのゼロイチ、成長支援
- ②中小企業、大企業へのコンサルティング
- ③地方創生関連および公的なお仕事、アドバイザー、委員等

- 一般社団法人T Xアントレプレナーパートナーズ（T E P） 副代表理事
- 国立大学法人筑波大学 国際産学連携本部 客員教授
- 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 客員教授
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）技術委員、SVr
- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（J A X A） アドバイザー
- 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC） アドバイザー
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー（スタートアップ）
- 川崎N E D Oイノベーションセンター（K - N I C） スーパーバイザー 他



スタートアップからみた官公庁、自治体の問題

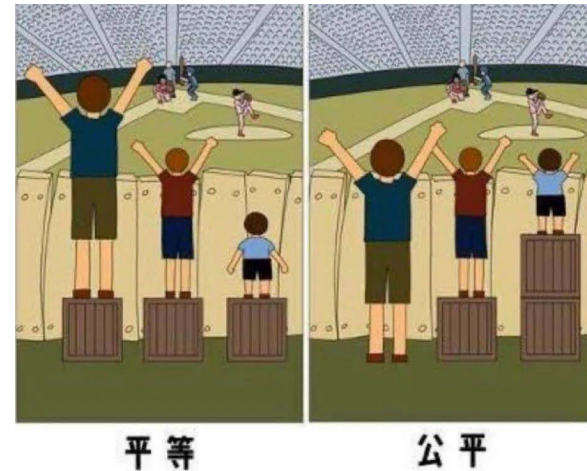
- 官公庁、自治体のスタートアップの理解不足・軽視（担当者によりけり）
- 知財の理解不足（知的財産権<知財）
- 技術の目利きレス、安易で勝手な解釈、「前例がない。。」
- 仕様書作れない、情報漏洩、劣化コピー濫造促進、信用低下、負のスパイラル
- 事務局等のモラルの欠如
- 2000個問題的データ活用レギュレーションバラバラ問題
- 助成金等活用時の成果（データ含）の帰属と汎用的備品等の取り扱い
- 契約書、経費書類等、フォーマットがバラバラ問題
- 手続きの煩雑さ、時間の浪費（スタートアップには死活問題）、過度な予防線
- そもそも競争入札というシュリンク問題

スタートアップの問題

- 官公庁、自治体のロジックや慣習等、理解不足
- 事業における知財の重要性の認識不足
- 実力の過信と必要以上の劣等感（スタートアップにより千差万別）
- 情報の鵜呑み、隷属化
- やらかすスタートアップの存在による信用低下（契約不履行、不正受給等）
- 事業継続性、資金力の欠如、リソース不足、すべてが足りない

方策

- 互いのリスペクト
 - スタートアップ育成と公益とのバランス
 - スタートアップの生態に対するリテラシー向上
 - ビジネス、知財の理解（担当者によるばらつき）
 - スタートアップ育成を考えるのであれば公平と平等の認識が必要
 - 目利きおよび双方のロジックのわかる橋渡し人材の必要性
 - 骨抜きにならないようなガイドライン、標準化、マニュアル
 - 予防線より信賞必罰型の検討（オプトインからオプトアウト）
 - 競争入札のあり方の見直し（合うもの合わないもの）
- 目的：公平性担保、談合等排除、価格の最適化



とあるスタートアップのぼやき

- 愚痴ばかりでは、つまらないので。自治体側のデータ保護の姿勢もなかなか興味深いです。某自治体は、いろいろな意味でチャレンジング。自治体内のデータをちゃんと整理・集約・管理していて、しかも大した手続きせずにはほぼ公開していただいています。
- 他方で、別の某地自体は、技術開発には前向きですが、メチャメチャ保守的で気難しい。壁と堀が何重にも構えていて、お城の超絶保守な雰囲気スタートアップの社内組織にも伝染浸透してしまうなど、ありがたいのに負の影響力が強すぎるw。